

きしゅうけん
紀州犬

昭和9(1934)年5月1日 国・天然記念物(地域を定めず)指定



明治時代以後、外国の犬が飼われ、日本犬が次第に少なくなりました。北海道犬・秋田犬・柴犬・甲斐犬・越の犬・土佐犬・紀州犬の7種類が国の天然記念物に指定されています。

紀州犬は、紀伊半島でイノシシ、クマ、シカなどの狩猟犬として飼われてきました。太地犬、熊野犬、高野犬とも呼ばれました。体型は中型で、体高は雄で 49～55cm、雌

で46～52cm。耳を立て、尾はくるりと巻いた巻尾、毛色は白が多く、狩猟犬として、また伴侶犬として優秀な犬です。

三重県では天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を促進するため、年に一度、紀州犬審査会を開き、優良な紀州犬を台帳に登録しています。